



がっこうだより

枚方市長尾西町2丁目45番1号 TEL050-7102-9176
E-mail nishinagao-e00@city.hirakata.ed.jp
URL https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/6-1-0-0-0_2.html

枚方市立西長尾小学校 令和6年2月29日

<西長尾小学校のめざす児童像>

1. 心豊かな子ども（自他を大切に
する、思いやりのある子ども）
2. 深く考える子ども（自ら学び、
考えて行動できる子ども）
3. 健康な子ども

コミュニティ・スクールだより

—— 子どもたちの自己肯定感を育むための取組

新しい体験を毎日重ねている子どもたちは、元々、自己肯定感のかたまりのような存在です。

その「成長したい」という心を学校で見取り、支え、成長を促す役割を教職員は担っています。

日々、教材研究を重ねることや、子どもたちのがんばりへの励ましをはじめ、教職員は様々な業務をしています。

働き方改革の目的は業務の質の向上です。そのための取組として、保護者や地域の皆様に教育活動に参画していただく工夫が求められています。その一つとして本校で実施しているのが、保護者の皆様や地域の皆様による登録制の「こどもサポーター」の活動です。

これは、校区コミュニティ協議会にご協力いただき、「地域学校協働活動」に位置づけ、昨年度より実施しているものです。

地域や保護者の方に、中休みや昼休みに、清掃の時間に学校においていただき、子どもたちを「褒めてもらう」ことを中心に活動していただいています。



<西長尾小 こどもサポーター の活動>

1) 清掃の時間に校内の必要なところへ配置、児童と共に短時間の清掃活動を行う。

活動日 毎週2回(水・木曜日)

活動時間 13:15(集合)~13:40(終了・解散)

活動内容 活動しているこどもたちの良いところを見つけ、ほめる
(用具の確認整理・清掃の指導)

2) 中休みの時間に校内の子どもたちの見守りを行う。

活動日 毎週2日(火・水曜日)

活動時間 10:15(集合)~10:35(終了・解散)

活動内容 子どもたちの見守りや、話の聞き手となる
(お話を聞いてほしい子どもたちはたくさんいます)

この活動の中で、褒めるチャンスがあちこちにあるのが掃除の時間です。こどもサポーターの参加が一番多いのも掃除の時間です。

今年度の9月の初めから、2)の中休みの見守りも始めました。この活動では、子どもたちと一緒に遊んでくれたり、掛け算の九九を聞き取ってくれたり、お話を聞いてもらったり、縄跳びの跳んだ回数を数えてもらったりするなど、子どもたちの自己肯定感を高める瞬間に立ち会ってもらうことができています。

子どもたちの近くに肯定的な受け止めをしてくれる人がいて、聞いてもらえたり見てもらえたりするだけでも、自己肯定感が高まるようです。

次年度はさらに活動の場を増やし、様々な場で「協力したい」という思いをお持ちの方々とのマッチングができればと思っています。

まだまだ、こどもサポーターへの登録をしていただいている方は少ないですが、できる限り、子どもたちの成長を愛する多くの方に子どもたちのそばにいてもらえたら大変にありがたく思っています。

ゆる〜く行っていきます。お問い合わせは学校までご連絡ください。



創作劇活動を発達段階に合った形で導入することについて

この教育活動の意義を新たにまとめましたのでご一読ください。

1. カリキュラムを工夫した創作劇活動の効果

- 1) 自分の中から新しいものを生み出し、他者に受け入れられる(肯定的に理解される)体験は、自己肯定感を極めて高いところに押し上げる作用をもたらします。
- 2) 他者理解の機会が増えるので、おこなった回数分だけその経験値が高まります。具体的には、子どもの意識の中に「他者理解力」の必要度や重要度が次第に高められてきます。つまり、「必要に応じて他者意識に立てる力」が養われていくわけです。
- 3) 自分とは違う考えや意見に肯定的に接する機会が増える(劇をすること自体が肯定的建設的な取り組みとなっているため)ので、協働活動のなかで多様なコミュニケーションへの前向きな対応力が養われます。

◎効果のまとめ

→自信を持って他者を尊重する行動のできる子どもを育てることができる。(→協働活動への肯定的積極性)

☆2月のようす

日々の学校の様子は「枚方市立西長尾小学校ブログ」をごらんください。右のQRコードでアクセスできます。



2月16日 5・6年生

生活委員会の取組「おはよう運動」。木陰に立っている人たちが生活委員さんたちです。元気にあいさつします。



2月2日 3年生

外国語活動 what's that? とみんなでたずねます。箱の中にあるものをさわって当てるゲームをしていました。ヒントをみんなで伝えます。できるだけ英語を使ってやりとりをしています。



2月5日 2年生と4年生

2年生の教室で、いっしょに取り組む行事について4年生の代表委員が説明しています。とてもしっかりと説明する姿に、成長を感じました。



2月22日 1年生 マツガ保育園との交流会

あいさつの後、ピアノできらきら星の伴奏に合わせて歌ってもらいました。



2. カリキュラムを工夫した創作劇活動の目的

- 1) 創作劇活動は、創作物を発表し鑑賞することで完結しますが、その完結自体が目的ではありません。その過程において、自己による言語的創作物(話し言葉による対話的創作物)の創作過程で得られる体験(自己開示・他者理解・折り合いをつけること等)をさせ、そのときにより感情(自己肯定感・達成感等)を持たせることが目的です。

◎目的のまとめ

→ 得られるよい感情は得られた体験の価値の高さを定着させやすくします。個々人がそれを実感することで、定着されつつある価値のある行動を、日々の行動に表出したいとなります。つまり、価値のある行動を表出しようという意思をもたせることが目的。

3. カリキュラムを工夫した創作劇活動の肯定的特徴

- 1) 「他者の心情と自身の心情を交わすかわりの場」の経験を意図的に作りだしやすい。
- 2) 発達段階上重要な時期(特に低学年から中学年前期)における「他者への信頼感の醸成」へと結びつきやすい。
- 3) カリキュラムの構成の工夫により、話し言葉のコミュニケーション力向上への緩やかな登り坂としての役割をもたせることができる。

◎肯定的特徴のまとめ

→効果的な体験が楽しく取り組める。
「感情は興味や関心を生み出し、その興味や関心が学習や記憶の原動力になるので、教育課程において感情が非常に重要であることは明らかだ」
(オレゴン大学の名誉教授、ロバート・シルヴェスターの言葉より)